



# 東援だより

vol.  
39  
2023.02

## 理念

私達は、高い志をもち、時代の要請に基づき先駆的に社会福祉の充実を図るため、利他の精神をもって活力ある経営を行い、社会福祉法人としての責務を果たし、社会に貢献してまいります。



## 特集

# そば打ち体験 サルビア荘

サルビア荘でそば打ちに参加する利用者さん

## もくじ

理事長挨拶 .....	1	法人を取り巻く「環境」 .....	6
東援ニュース .....	2	こころあわせて .....	7
委員会活動報告 規程委員会 .....	3	支援マテリアル紹介 .....	8
特集：そば打ち体験 サルビア荘 .....	4・5	東援歳時記 .....	8
夜間鑑賞バスツアー ケアハウス松が谷 .....	5		



## 令和5年 年頭挨拶

理事長 中村 明彦

令和5年の新たな年を迎え、東京援護協会が益々充実、発展すると共に、皆様方のご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

さて、令和4年を振り返りますと、異常気象や大型台風などによる自然災害に見舞われ被害に遭われた地域や人々の映像がテレビや新聞等で報道されました。被災にあわれた方々には、心よりお見舞いを申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症の発生から三年が経過し、社会全体に「疲れ」が見えておりましたが、ワクチン接種など感染予防対策を整え

ウィルスとの共存を図り、経済活動と社会生活の再開に向けて国民が前に進み始めて参りました。

東京援護協会も70年間の歴史と実績の元、福祉施策を拡充して参る所存です。今後も法人役員、職員が一致協力しながら「利他の精神」を持って利用者の皆様方に喜びと満足が実感出来る様、支援に取り組んで参りたいと存じます。

本年が全ての方々にとりまして明るく平穏な良き年となります様、ご祈念申し上げます年頭のご挨拶と致します。

NEWS

## 2024年卒業向けのインターンシップを実施しました。

新卒採用の一環として、2024年卒業向けのインターンシップ(お仕事体験)を実施しました。インターンシップとは、就業体験を通じて、仕事や企業、業界、社会への理解を深めることができる制度です。今年度は、初めての試みでしたので、半日お仕事体験として、法人説明・就業体験・先輩職員とのフィードバックの三本柱で実施いたしました。

就業体験の会場は、高齢者施設は「特別養護老人ホームいずみの苑」、障害者施設は「板橋区立高島平福祉園」でした。いずみの苑では利用者様と一緒に余暇活動を楽しみ、高島平福祉園では受注作業を体験しました。



福祉施設に初めて来られた方や、社会福祉士養成カリキュラムの実習を終えてさらに色々な施設を見てみたいという方等がいらっしゃいました。体験後に話を伺うと、「今まで体験できなかったことができ勉強になった」「実際に利用者様の様子を知り、仕事のイメージが湧いた」とのことでした。

現在、インターンシップに参加された学生の方が、アルバイトとして働いています。「インターンシップで体験や説明を受けたことで、職場の雰囲気を知ることができた。」「アルバイトとして働いてからは、実習ではできなかったことも経験できてよかった。」との感想がありました。



2024年卒業の皆様向けには、今年3月以降に法人説明会等を開催いたします。こちらのQRコードより登録していただき、エントリーをお願いいたします。



2025年卒業の皆様用のサイトも今年3月から動き出します。夏前にはインターンシップを開催いたします。1日先着3名ですが、日時をご相談に応じられますので、お気軽に問い合わせください。開設しましたら、法人のホームページに申し込みのバナーを貼りますので、エントリーお待ちしております。





## ● 規程委員会

《 今回は規程委員会委員長の水野次長にお話を伺いました 》

### 1. 委員会の今までの取り組み

本委員会においては、主に各種規程の作成、改正・改定を目的として活動しています。また、昨年度までは、法人の新たな人事考課表の作成に取り組みました。

本年度からは、規程や制度の情報が、正確かつ迅速に各施設に周知ができる仕組みづくりに重点をおいた取り組みをしています。



### 2. 人事考課について

法人では平成18年度から実施されてきた人事考課制度ですが、規程委員会が中心になって新人事考課について協議を重ね、令和4年度より新しい人事考課制度がスタートしました。新人事考課制度では、他者と比較するのではなく、本人が法人から求められている職位と職責についての考課に重点をおいた内容としました。職員の優れた部分が評価され、苦手な部分を把握して考課者と一緒に改善できるという、人材育成システムの機能を強化した制度となっています。

### 3. コロナ禍で特別に行った取り組みについて

本年度10月20日に管理係職員同士の情報の共有と連携強化を目的とした管理係連絡会を開催しました。

開催形式においては、法人本部での対面形式とリモート参加形式のハイブリッド形式とし、密になることなく実施しました。

画面越しではありますが、本部とリモート参加者同士で有意義な意見交換を行うことができました。今後も、規程に携わることが多い管理係職員同士が、交流を通してさらなる連携強化ができる場の企画に取り組んでいきます。



### 4. 今後の規程委員会の課題、目標について

これまでの本委員会においては、規程作成に係る複雑な法律・制度への理解と、法改正等の情報を確実に入手することに課題がありました。今年度からは、法律事務所 First Penguin の小林凜斗弁護士が本委員会に参加され、規程の作成、法的分野の助言など幅広いサポートを受けることができ、円滑な規程作成が可能となっています。

今後も、時代の情勢に応じた適正な規程作成やシステムの導入等を通して、法人職員が安心して働くことができる職場環境となるよう、委員一同で取り組んでいきます。



# そば打ち体験

特集

サルビア荘



サルビア荘では、昨年の秋にそば打ちを行いました。利用者様からの「お蕎麦が食べたいねえ」との何気ないひとことに、せっかくだから最初から最後まで自分たちでやってみようと思い、栄養士に相談し本格的なそば打ち体験を実施することになりました。当日は、車椅子の利用者さんも参加しやすいように作業台を低くし、調理工程や使用道具の説明を行い、厨房職員協力のもと、ほぼ全員に全ての調理工程を体験していただくことができました。

説明に皆さん耳を傾けています。集中力が途切れません。



皆さん熱心に取り組まれています。終始真剣な表情です



手さきがすごいですね。驚きました。



完成したお蕎麦です!



記念に写真だけでもと声をかけた利用者さんが熱心に蕎麦を切ってくださいるなど、意外な一面を垣間見ることもできました。





「自分たちで打ったお蕎麦は  
美味いわね」「次はいつなのかしら」  
皆さん、笑顔と満足でいっぱい!

コロナ禍の続く現在では高齢者施設での活動は制限が多く、利用者様には心苦しい限りではありますが、利用者の皆様に少しでも喜んでいただけるよう日々の活動を行っていきたくと思います。



## ケアハウス松が谷 「夜間鑑賞バスツアー」



ケアハウス松が谷入所者のなかから希望者を募り、  
『東京夜の街イルミネーションツアー』を開催し8名が参加されました。  
18時30分施設を出発し、感染予防に配慮しながらバス2台にわかれ、丸の内、銀座、日比谷方面をドライブしました。  
自身のスマホや携帯で写真を撮りながら（皆さん最新式のスマホをお持ちです）、バスの中でたくさんお喋りをしました。  
皇居を通過し、銀座の和光、木村屋總本店、高級ブティックの前を通ると、「懐かしいわ」「あそこの店の奥に…」「昔はよく来たわ」と話題が尽きません。また、東京駅近くではウェディングの撮影をされていました。  
約1時間30分のドライブのメは、スカイツリーです。墨田川を渡り屋形船や川沿いの夜景を眺めながら施設へと戻りました。







## 法人を取り巻く「環境」

### 田柄福祉園:TAGARA FES施設公開(地域開放)

令和4年11月5日(土)に田柄福祉園主催の「TAGARA FES 施設公開(地域開放)」を開催しました。

当日は、活動紹介コーナー(パネル展示・スライドショー)、作業体験コーナー(缶潰し・くるみボタン作成)、自主生産品販売を実施しました。

今回、地域の方含め、利用者様、利用者ご家族様、職員ご家族の皆様にご来場いただきました。来場者の皆様にはスライドショーや活動写真、作業体験、などを通して、田柄福祉園での活動内容を伝えられる良い機会となりました。

また、生産作業(活動)についての説明を受けた後に自主生産品販売コーナーにも足を運ばれ利用者の方々が作成した製品を実際に手に取り、気に入っていただけの商品が見つかること購入までして頂きました。

今後も、様々な形で田柄福祉園を地域に知っていただき、社会福祉に対する知識を広げ、地域に貢献してまいります。

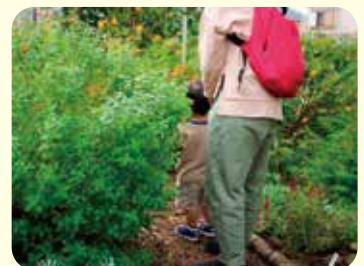


### 関町福祉園:3年ぶりの関町フェスティバル

関町福祉園では10月に、「関町フェスティバル」を3年ぶりに開催しました。感染対策のため園庭での開催としましたが、好天にも恵まれ、多くの地域の方に来園いただきました。

自主製品の缶バッチ作成体験やグリーンガーデンの散策、スタンプラリーなど楽しみながら、福祉園の事業を知っていただけるように企画しました。ボランティアの皆さんにご協力いただいた、ハーブ収穫体験や園庭で収穫した綿花を使った綿繰り体験は大変好評でした。

利用者の皆さんは、入口で親しみのある笑顔でお客さんを呼び込んだり、来場者に元気に挨拶をしていました。販売ブースでは接客を担当し、缶バッチ作業のやり方を見せるなど大活躍でした。お客さんの中には懐かしい顔ぶれもあり、コロナ禍でできなかった地域の方々と交流できた、楽しいひと時になりました。



## ●目黒区東が丘障害福祉施設・東が丘荘 防災訓練表彰

目黒消防署から秋の火災予防運動にあたり、功労賞をいただきました。東が丘福祉工房は、ご利用者様との防災訓練を年8回、通所バス送迎時の地震想定避難訓練を年1回実施しています。複合施設としては、あじさいホーム、東が丘荘それぞれでも訓練を実施しており、加えて、複合施設全体の訓練や地域の方との合同訓練も行っています。これを平均すると、月に2回～3回ほど、施設の中で訓練をしていることとなります。

このような防災訓練実施回数の多さが評価されました。今後も、より一層防災対策に励んでいきたいと思っています。



## ●板橋のいっぴんに選ばれました!!

「板橋のいっぴん」とは、地元で愛され親しまれている食品を区民から募集し、公募委員などによる選定委員会の審査を経て、区が認定したものです。

平成20年度以前に認定された「区民が選んだ板橋のいっぴん」は“殿堂入り商品”として認定され、新たな「いっぴん」商品として、高島平福祉園の「フロランタン」、前野福祉園の「ガトーアナナス」が選ばれました。

選ばれた2品の紹介を致します。

### 高島平福祉園

品名：フロランタン

販売価格：200円

連絡先：03 5399 7170 (分場)

#### 商品の説明

サブレ生地にキャラメルでコーティングしたアーモンドをのせた焼き菓子です。原材料は無添加にこだわり、1枚、1枚、丁寧に作り上げ、キャラメルを焼いた香ばしさとアーモンドの風味が調和した、当店でも人気のお菓子です。



### 前野福祉園



品名：ガトーアナナス(スライス)

販売価格：150円 (1スライス)

連絡先：03 5392 8731

#### 商品の説明

国産小麦粉や良質な鶏卵等の順良な素材を厳選して使用し、カルピスバターをぜいたくに使って焼き上げたしっとりしたパイナップルのパウンドケーキです。コクがあり、でもあっさりとした後味が楽しめる商品です。





# 支援マテリアル紹介 パワーリハビリテーション

## 特別養護老人ホーム 蔵前

くらまえ高齢者在宅サービスセンターでは、PT・OTのマンツーマン指導のもと利用者の身体的・精神的活動性の向上を目的にリハビリ機器を導入

しています。  
最新機器を使用する運動プログラム（通称…パワーリハ）は、軽負荷で行い、全身各部の使っていない筋肉を動かす、高齢者向けの最新のリハビリテーションです。

利用者からも大好評！

「パワーリハをやるようになってから、体の調子が良くなりました（Mさん：100歳）」

「今日も、調子がいいぞ！」



「股関節をゆっくり開いて」



「1, 2, 3, 4！」



「肩甲骨を意識して」



# 東援歳時記

## いずみ祭で大好評でした

### 特別養護老人ホーム いずみの苑

いずみの苑では毎年10月下旬に施設恒例のお祭りを開催しています。

コロナ禍で活動が制限される中でも施設の皆様に楽しんで頂きたいと本年は初の試みとして「出張回転すし」をお願いしました。10mほどのレーンが回りご自身で好きなものを選ぶという楽し

さから食や会話も進み大いに盛り上がりました。

利用者の皆様からは「見ていても楽しかった」「やっぱりお寿司が一番」「来年もやってほしい」といった声が多く上がりました。利用者の皆様の嬉しそうな笑顔に職員も元気を頂けたいずみ祭となりました。



## 編集後記

3年ぶりに行動制限のない、あたたかなお正月を迎えられたことと思います。うさが飛び跳ねるように、大きな目標や希望が向上し、飛躍する年となりますようお祈り申し上げます。

コロナ禍もあり、人が多く集まるイベント等が開催しづらくなっていましたが、感染対策をしっかりと行い、そば打ち体験

やバスツアー、施設公開等を再開できました。ボランティアの皆さまや地域のつながりで開催できたことも多く、本当に感謝しております。

これからも利用者様やご家族様、職員や法人を取り巻く地域の方々の輝きを、法人の「いま」と「これから」として皆様に届けていきたいと思っております。



### 東援だより 第39号

発行日 令和5年2月22日

発行者 中村 明彦  
社会福祉法人 東京援護協会  
東京都台東区東上野3-18-11